

会 議 録

1 会議名

平成28年度第4回板倉区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 板倉区の小学校の在り方について (公開)

(2) その他 (公開)

・板倉区の概要について

3 開催日時

平成28年6月21日(火) 午後6時から午後7時20分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 市民活動室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者(傍聴人を除く)の氏名(敬称略)

・委員：平井達夫(会長)、新井清三(副会長)、小林良一(副会長)、福崎幸一、徳永妙子、古海誠一、北折佳司、長藤豊、西田節夫、島田信繁、上野きみえ、古川政繁、増村眞一、島田正美

・事務局：板倉区総合事務所 五十嵐所長、山崎次長、山岸総務・地域振興グループ長、武藤市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、山中産業グループ長、竹田建設グループ長、嘉鳥地域振興班長、樋口主事、関主事(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容(要旨)

【山崎次長】

・地域協議会の開会を宣言

【平井達夫会長】

・あいさつ

【五十嵐事務所長】

- ・あいさつ

【平井達夫会長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・(1)「板倉区の小学校の在り方について」を議題とする。豊原校区意見交換会の日程は豊原地区連絡協議会長と調整の結果、7月15日から7月末日の期間となった。現在、豊原地区連絡協議会で日程、時間、場所を調整中で決まり次第、連絡をしたい。次に事務局の説明を求める。

【山岸G長】

- ・資料1により説明

【上野きみえ委員】

- ・今回集まっていた人、どのような範囲に声かけされたか。

【平井達夫会長】

- ・豊原地区連絡協議会長との話では小学校や保育園の保護者、各町内会長もしくは役員で町内会については1人に限らないでいいと話をしてある。
- ・こちらは地域協議員委員14名全員と事務局と話してある。

【上野きみえ委員】

- ・了解した。

【長藤豊委員】

- ・去年、筒方地区連絡協議会の会長として参加させてもらったが今現在、保育園は1ヶ所にまとまっていて小学校で分散して、また中学校でまとまる。今の保育園が1ヶ所になった時に当時どのような意見があったのか。バスを運行するということに認められたと思うが、その当時の意見というのも参考資料として盛り込むとまた違った考え方も出てくるかということが一つと、義務教育一貫校という方法が考えられるかどうか、それも情報があったら知りたい。

【平井達夫会長】

- ・事務局、いくら保育園の経緯を説明できるか。

【山岸G長】

- ・調査する。

【島田信繁委員】

- ・今回、第1回校區別意見交換会として豊原校区が上がっているが、順次4校区を回るのか。

【平井達夫会長】

- ・これから先、どういう流れか不透明な部分があるが、まず豊原校区との意見交換会を実施してある程度、豊原校区の意見がまとまれば、地域協議会で意見をまとめて各校区へ説明に伺うような形で行いたい。

【上野きみえ委員】

- ・前の地域協議会委員からは板倉区の小学校の在り方について発言をとりまとめたが、新しい地域協議会になってからの委員の意見はまだ聞いていないが、どのように考えるか。

【平井達夫会長】

- ・今までの委員は十分理解いただいていると思うが新しい方の意見は聞いてない。6名の新委員の意見を願います。

【福崎幸一委員】

- ・町内会長の時に豊原小学校区からこういう意見が上がっているということで、針地区の町内会長、PTAが集まって話をした。
- ・豊原校区はこのまま現状維持で、こちらの針には来ないと話していたが私はそれでよいと思う。豊原は豊原、あと3校は出来れば一つにしていただければという考えである。

【北折佳司委員】

- ・基本的には学校の統廃合は誰の都合でやるのかというのが分からない。
- ・単に生徒の都合でという考えではないので、基本的に統廃合は生徒のことを考えれば、今のままで小さくなくてもそのまま続けるべきだ。
- ・日本全国のどこでも生徒数が一人や二人という所でも学校はそれなりにやっているの、基本的には統廃合は進めない方がよいという考えである。

【長藤豊委員】

- ・グラフを見て当然、先を見れば1校にすべきだという考え方である。特に今、保

育園が1か所、中学校も1か所で小学校だけ分かれているのは何か変な感じである。

- ・人数が少ないと切磋琢磨するという機会が少し薄れてくるので、1校にまとめていくべきではないか。

- ・今、直江津に中高一貫校があるが義務教育の一貫のようなものがあると違う。中学校に上がることによって精神的にどうこうということも聞いたことがあり、そういうことを考えても小学校を1校にまとめてできれば中学校もまとめてという形が進めばよい。

- ・校舎の老朽化の話もあったが、針小とか豊原小は古い方だという話もあり、その辺の改築とかそういう時期も近づいて来ると思うので、そのためにもまとめるのはいい案でないか。

【島田信繁委員】

- ・私も昨年は山部地区連絡協議会の会長ということで、何回かこの意見交換会に出席した。児童が少なくなるとどうしても競争心が弱くなるのではないか。

- ・大体1校から2校ぐらいにまとめてもらった方がよいと思う。どうしても学校がなくなると地区が段々と過疎化となって心配だが、子ども達のことを考えるとまとまったほうがよい。

【増村眞一委員】

- ・4校区の児童と親御さんの意見をまず聞いてから判断したい。

- ・これは平成何年までに決めるとかの期限があるのか。

【平井達夫会長】

- ・期限は一切ない。

【増村眞一委員】

- ・最終的な決定は市が決めるのか。

【平井達夫会長】

- ・はい。最終的には市が決める。増村委員は今回、新しく委員になったが小学校の在り方について昨年末に各連絡協議会が意見集約して各校区への意見結果がまとまっている。

- ・統合は仕方ないという意見と統合に反対という二つの意見がある。

・大きく意見が違うのは豊原校区である。私たちは住民の皆さんの意見をよく聞かなければいけないということで、先ほど事務局から説明のとおり資料を用意して皆さんに説明して意見交換が目的である。

【増村眞一委員】

・他の地区は針小学校と合併してもよいと言っている中で、豊原小学校だけだ。

【平井達夫会長】

・針小学校に全て統合するという事ではない。

【増村眞一委員】

・そうではなく豊原小と針小の2校だけである。豊原小学校に関しては、ここには意見を集約されているが、実際どうか聞いてみないと問題点をまとめられない。

【平井達夫会長】

・昨年、意見交換会を行ったが、データはないが雰囲気として90%の人は反対である。

【増村眞一委員】

・私の意見としては、すぐには回答できない。

【島田正美委員】

・昨年、何度か意見交換会に出席した。確かに統合もやぶさかではないと思うが、統合するのであれば板倉1校が望ましいが場所、親御さんの気持ちの問題、子ども自身どうなのか少し難しい。

・ちょうど20年前の板倉町の頃、2校にするという話があったが、どこで線を引くのか。そんなことしないで1校にして中学校と高校は針にあるから保育園も一つにして筒方地区、寺野地区に持っていったらどうか。周回バスを走らせれば町全体が良くなるし、子どもは保育園から高校上がるまで全部同じ班で過ごすということをご皆さん考えられないかと意見した。

・ただ統合でなくていろいろと何か考えて板倉区をどのようにしていったらいいか考えたらよい。

【平井達夫会長】

・豊原校区の意見交換会は、連協の会長さんへ7月15日から7月末ということで日程が決まり次第、連絡するので出席をお願いします。

- ・次の段階としては地域協議会としてまとめて、まとまったら昨年同様に4校区を回り地域協議会として結果の説明をして、理解いただき平成29年3月31日の今年度末には地域協議会として市に上程したいという状況である。

- ・板倉区小学校のあり方については以上とする。

- ・次に(2)その他に移る。板倉区の現状について事務局の説明を求める。

【山崎次長】

- ・板倉区の概要について各グループでそれぞれ作成した資料として説明する。資料では人口の推移、児童、生徒数、農業、産業、観光等のデータ及び下水道の接続率等、それぞれ板倉区の基礎的データを記載してある。今後、委員の活動に役立てていただきたい。作成した各グループ長より説明する。

【山岸G長】

- ・資料により説明

【武藤G長】

- ・資料により説明

【山中G長】

- ・資料により説明

【竹田G長】

- ・資料により説明

【平井達夫会長】

- ・質問・意見を求めるが意見ないので、板倉区の現状については以上とする。

- ・他に事務局で協議事項はないか。

【山岸G長】

- ・前回の協議会で地域活動支援事業の審査、認定をいただいた。「高齢者健康寿命向上地域活動事業」板倉区カラオケ達者会からの提案については事業の計画、内容として、板倉区内の各集会場（町内会館、地区公民館）を会場に、同一会場で月2回定期的に講座、健康体操、合唱会を実施するという計画が出されていた。

- ・この事業を検討する中で町内会館、地区公民館に限らずもう少し広域に他の施設でも実施したいという旨の申し出があった。事務局としては、軽微な内容修正と考えるが、このまま意見を尊重して事業を認める形でよいか。

【北折佳司委員】

・前回の会議の時にも話したが、桜園のグループホームに慰問に行ったらカラオケを楽しみにしていたりして、津軽三味線の人を連れて行って演奏したらすごく喜んでくれた。会場が町内会館の集会場でカラオケというのは、ちょっとあまりそぐわないという気がした。

【平井達夫会長】

・各町内会の施設を借りて月2回ほど実施するが、会場をもう少し幅広く実施するという提案か。

【山岸G長】

・はい。提案書では会場を限定的にしていますが、もう少し広域に対象を広げたいということである。これから取り組まれる前に皆さんからご了承いただきたい。

【平井達夫会長】

- ・意見がないので会場については幅広くということでした承とする。
- ・他に協議事項はないので、これで本日の協議事項を終了する。本日の会議録は北折委員にお願いする。
- ・次回の協議会の日程として7月の27日（水）18時から行いたい但委員の都合はいかがか。

【委員】

・「はい」の声多数。

【平井達夫会長】

・それでは、そのように進める。

【山崎次長】

・以上で本日の日程を終了する。最後に小林副会長から閉会のあいさつをお願いする。

【小林良一副会長】

・あいさつ

9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ TEL0255-78-2141（内線 123）

E-mail : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。